

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:

事業所名 チャイルドサポートうらそえ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1			
	2	職員の配置数は適切である	6			子どもの人数を確認しながらスタッフの配置を決めている。	子供が慣れるまでは個別での対応をするが、慣れた時には小集団に出来るようにする。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	4	1		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2	2		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2	1		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	2	2	未記入1	8月のオープンでアンケートを今回出したので今後は公開して知らせていきたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	1	未記入1	
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7				
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	1			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			子ども達の意見も取り入れながらプログラムを作っている。	色んな事ができるようになってきたので今までできなかった事を増やしながら定着できるようなプログラムを作ろうとする。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	1		子供たちが決めてしまっているプログラムなので固定化してしまっているのを毎月一つプラスをして固定化しないように改善していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2		学校からの宿題は毎日行えている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			毎朝MTGをして子どもの担当を決めて支援ができるようにしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	2	パートさんがいるのでその日の振り返りはできず翌日のMTGで行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			一日の支援記録を記入している。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		1	毎月ではないけれど行えている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	1	2			

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			サビ官が参加をしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	1		お迎えに行った際に職員と一日の出来事を確認している。	学校との情報共有をもっと密に行って行けるようにしていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	2	1	未記入1	医療児ケアの子供がいないので今後受け入れて行くためには連絡が出来るような体制を整えていくようにする。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2		モニタリングをしながら共有はできている。	今後は児発官だけではなく、関わっているスタッフも参加出来るように行って行く。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	4	1	未記入1	利用している児童に障害福祉サービス事業所へ移行する児童はまだいない。今後は行って行く。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2		モニタリングをしながら共有はできている。	現状ではまだないが今後活動する予定を組んでいる。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	4		今は行う事は出来ないが、コロナが落ち着いた頃には計画を立てて行って行く。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	2	4		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			送迎時に一日の出来事を話している。	「はい」ではあるが不十分。もっと保護者の悩みや考えを聞く等、話をする時間も増やしていきたい。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		6	1		今はスタッフがペアレントトレーニングの研修を行っているので、理解をした時には支援が出来るように行って行く。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	4		保護者会を開催する機会がないが今後は発足は必要である。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			送迎の時に相談されたらその都度対応をしたり、事業所に持ち帰って後で伝えたりしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	2		ブログで活動内容を発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	7				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	2			

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	2		
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1	1	8月オープンなので行う事は出来ていない。	長期休み時に全体で出来るように計画を立てて避難訓練を実地していく。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	1		子ども達を交えては行えていない。今後は行えるようにして行く。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2		強度行動障害の研修には数名のスタッフは参加できた。	一回だけの全体の周知だったので年に2.3回に分けて出来るように計画を立てて行えるようにする。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		2		
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7				
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			事故報告や、ヒヤリハットを記入して話し合いをしている。	